

湿度調節器 取扱説明書

【適合機種】

HSE501・HSE1001・HSE302・HSE501α・HSE1001α・HSE302α

【湿度調節器セット内容】

- ・湿度調節器～1
- ・ヒューミディスタット取扱説明書～1
- ・湿度調節器取扱説明書～1

【仕様】

湿度設定範囲 30～90%RH
 入切湿度差 約5%RH
 使用周囲温度 10℃～40℃

【注意事項】

安全のために、次の事項を守ってください。けがをする恐れがあります。

- ・作業時には本体の電源コードを抜くこと。
- ・作業用の手袋をはめて作業すること。

本製品の取付けには、次のような使用環境を避けてください。故障の原因になります。

- ・特殊薬品や腐食性ガスのあるところ。
- ・高温にさらされるところ。
- ・水滴の掛かるところ。
- ・衝撃、振動のあるところ。

本製品は分解しないでください。

- ・故障、感電のおそれがあります。

【工具】

(+)中ドライバー、(+)小ドライバー

※ホールソー(φ21mmまたはφ22mm):左側板に湿度調節器用の孔が空いていない機体は孔開けが必要です。

対象機:HSE501(Uロット)

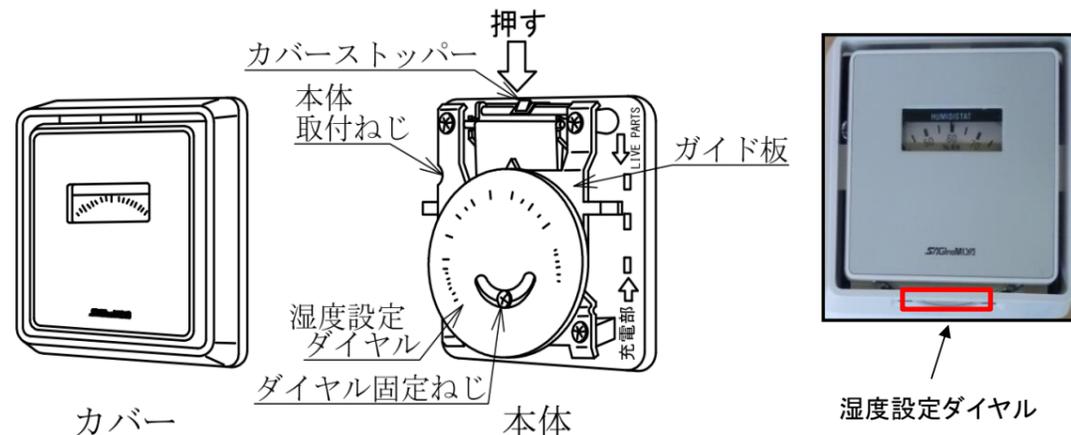
【湿度設定】

湿度調節器下側の湿度設定ダイヤルを回して、希望する湿度に合わせます。

湿度設定ダイヤルは固定ネジで固定することが可能です。カバーストップを矢印方向に押し、カバーを取り外し、ダイヤル固定ネジで調整してください。

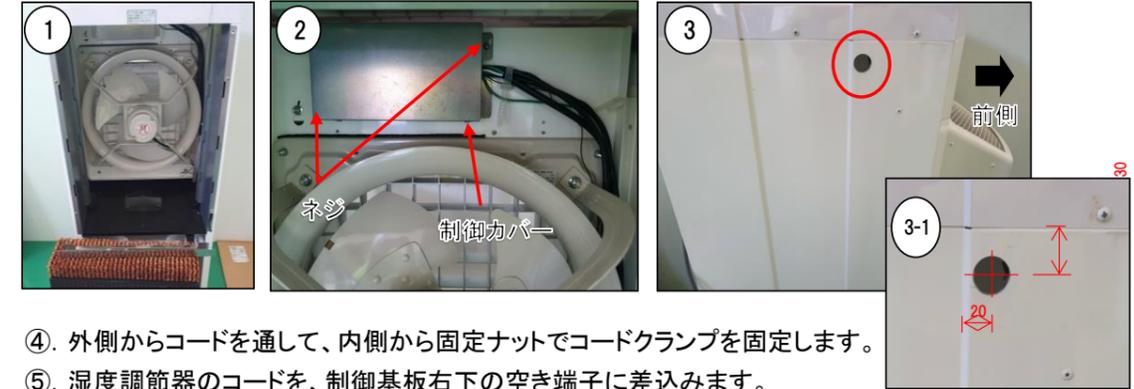
※ダイヤル設定値と制御湿度には差が生じることがあります。

設置後は必ず試運転等で作動湿度を確認してください。誤差があった場合は、誤差を見込んでダイヤル設定をしてください。

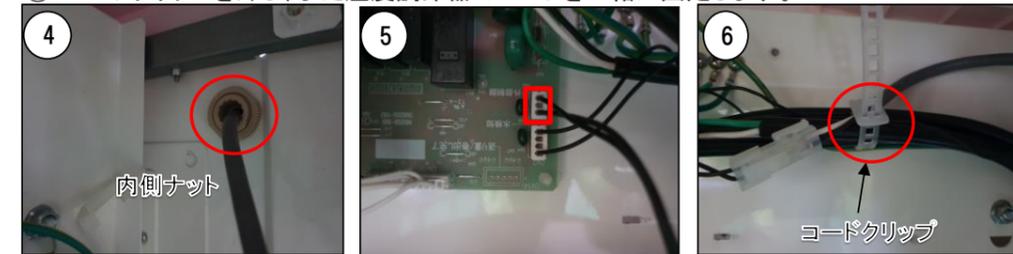


【HSE501・HSE1001・HSE501α・HSE1001α組付方法】

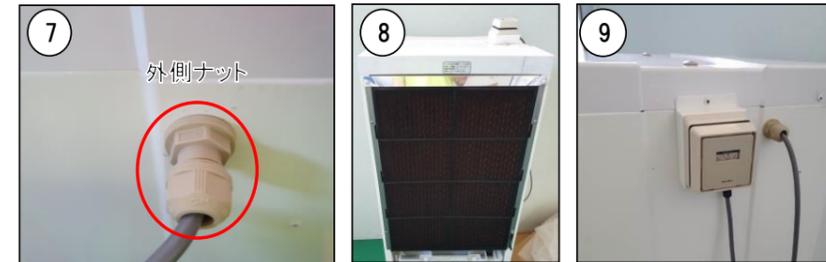
- ①. 本体背面の化粧ネジ(2個)を取り、エレメント押さえ、フィルター(2枚)、エレメントを外します。
- ②. (+)中ドライバーでネジ(2本)を外して、内部の制御部カバーを外します。
- ③. 写真の位置のパッキングを外します。(HSE501(Uロット)の場合は③-①)
- ③-①. 写真の位置に指定サイズ(φ21またはφ22)のホールソーで孔を開けます。



- ④. 外側からコードを通して、内側から固定ナットでコードクランプを固定します。
- ⑤. 湿度調節器のコードを、制御基板右下の空き端子に差込みます。
- ⑥. コードクリップを外し、また湿度調節器のコードと一緒に固定します。



- ⑦. コードクランプの外側ナットを締めて、コードを固定します。
 ※内部でコードがたるまないように固定してください。送風ファンの羽根に接触するおそれがあります。
- ⑧. 制御カバー、フィルター(2枚)、エレメント、エレメント押さえを元の位置に戻します。
- ⑨. 湿度調節器をHSE本体に組付ける場合は、本体のネジを利用して共締めます。
 ※必ずしもHSE本体に取付ける必要はありません。測定したい場所に加湿調節器を設置してください。

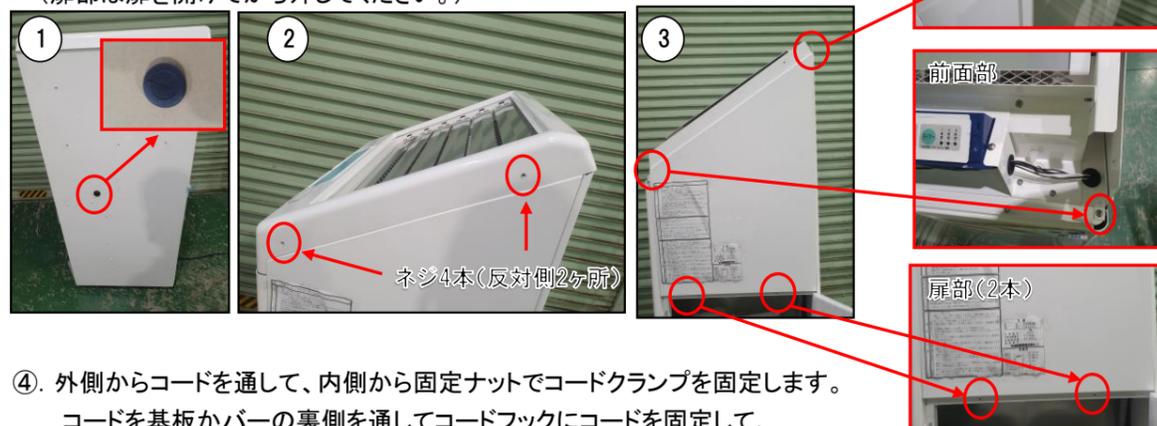


【本体の動作、表示】

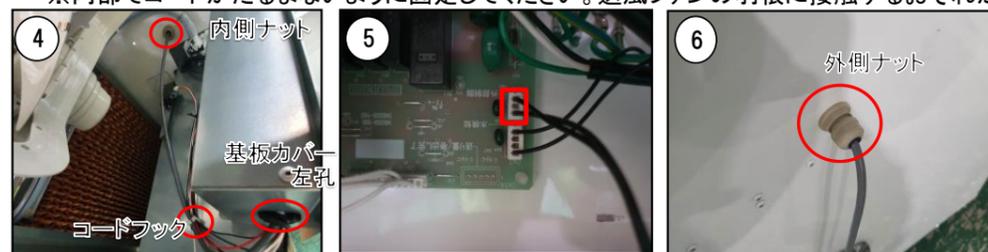
- ・雰囲気湿度が設定湿度以下のときは、加湿運転します。
 水切れのときは、加湿ランプが点滅しエレメントの乾燥運転を行った後、送風ファンが停止します。
- ・雰囲気湿度が設定湿度以上になると、ポンプが停止します。送風ファンはエレメント乾燥運転を行った後に停止し、待機モードになります。
 エレメント乾燥運転中は、加湿ランプと自動停止ランプが点灯します。
 エレメント乾燥運転が終了し待機モードになりますと、加湿ランプのみ点灯となります。

【HSE302・HSE302 α 組付方法】

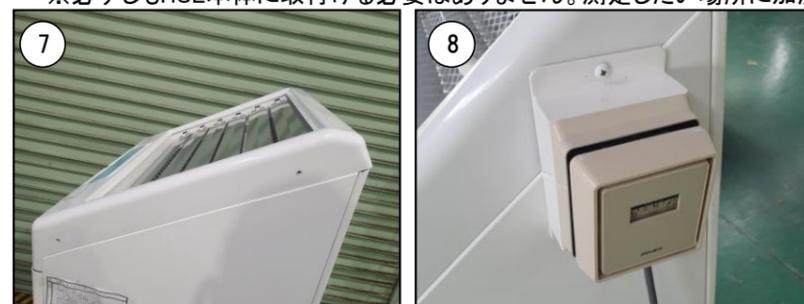
- ①. 本体背面のグロメットを外します。
- ②. (+) 中ドライバーで写真のネジ(4本)を外して、吹出口カバーを外します。
- ③. 写真のネジ4本を外して、右側板上を外します。
(扉部は扉を開けてから外してください。)



- ④. 外側からコードを通して、内側から固定ナットでコードクランプを固定します。
コードを基板カバーの裏側を通してコードフックにコードを固定して、
基板カバーの左の孔から配線します。
- ⑤. 湿度調節器のコードを、制御基板右下の空き端子に差込みます。
- ⑥. コードクランプの外側ナットを締めて、コードを固定します。
※内部でコードがたるまないように固定してください。送風ファンの羽根に接触するおそれがあります。



- ⑦. 右側板上、吹出口カバーを元通り戻します。
- ⑧. 湿度調節器をHSE本体に組付ける場合は、本体のネジを利用して共締めます。
※必ずしもHSE本体に取付ける必要はありません。測定したい場所に加湿調節器を設置してください。



【本体の動作、表示】

- ・霧囲気湿度が設定湿度以下のときは、加湿運転します。
水切れのときは、加湿ランプが点滅しエレメントの乾燥運転を行った後、送風ファンが停止します。
- ・霧囲気湿度が設定湿度以上になると、ポンプが停止します。送風ファンはエレメント乾燥運転を行った後に停止し、待機モードになります。
エレメント乾燥運転中は、加湿ランプと自動停止ランプが点灯します。
エレメント乾燥運転が終了し待機モードになりますと、加湿ランプのみ点灯となります。